

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

少子化や核家族化により子育て世代の環境は厳しくなっており、児童虐待の現状も依然として増加傾向が続く大きな社会問題となっています。特に死亡児の年齢が低年齢児、なかでもゼロ歳児に集中していることから、子育ては妊娠したそのときから既にスタートしているとも言え、妊娠初期からその発生を予防する具体的な対応が必要であり、これは社会全体で取り組むべき問題です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

私たちが出来る事を
考えよう！



参加費
無料

先着250名

グラフィック 八下田 佳純

日時

平成25年1月19日(土)
13:00~16:00

場所

ホテルグランヴィア岡山

※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。

■主催(共催)

社団法人 日本医師会
公益財団法人 SBI子ども希望財団
社団法人 岡山県医師会

■後援(予定) ※法人格は省略

厚生労働省
日本産婦人科医会、日本小児科医会、
岡山県、岡山市、岡山県小児科医会、
岡山県産婦人科医会、
岡山県教育委員会、岡山県学校保健会、
岡山県児童養護施設等協議会、
岡山県愛育委員連合会、山陽新聞社、
全国児童養護施設協議会、
全国母子生活支援施設協議会、
全国乳児福祉協議会

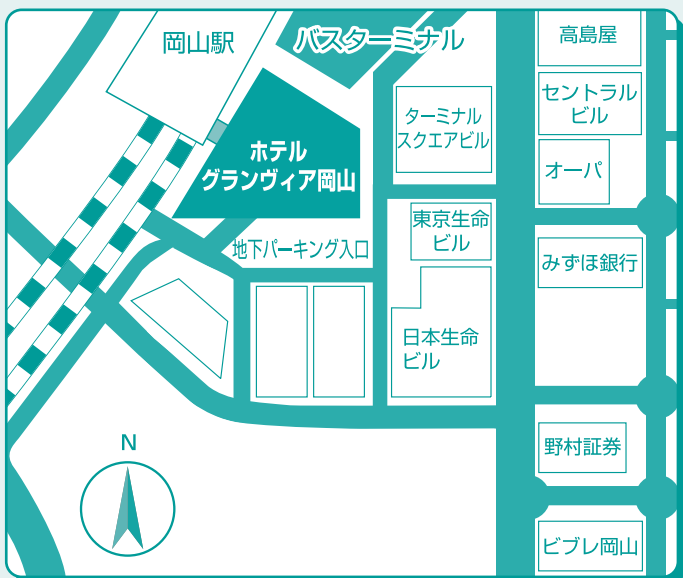
参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 岡山 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成25年1月19日(土)
13:00～16:00

場所：ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス
〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5
TEL:086-234-7000 FAX:086-234-7097

◆JR岡山駅直結



プログラム

司会:今村 定臣(日本医師会常任理事)

1. 開 会 13:00
2. 挨拶 13:00～13:10

横倉 義武(日本医師会会長)、丹羽 国泰(岡山県医師会会長)

3. シンポジウム 13:10～15:15

座長:山崎 善久(岡山県医師会副会長)、国富 泰二(岡山県医師会理事)

- (1)中塚 幹也(岡山大学大学院保健学研究科教授)
「社会的ハイリスク妊婦へ切れ目ない支援を『妊娠中からの気になる母子支援』連絡システムの解析」
- (2)岡田あゆみ(岡山大学病院小児科助産師)
「受援力を高める関わりー小児科医が気をつけていることー」
- (3)笹倉千佳弘(就実短期大学幼児教育学科教授)
「新生児期の虐待防止ー妊婦健診未受診妊産婦の実態調査をふまえてー」
- (4)佐藤 拓代(大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部長)
「妊娠期からの虐待予防」
- (5)西澤 哲(山梨県立大学人間福祉学部教授)
「虐待死亡事例の分析から見る親の社会・心理的特徴」

4. 討 議 15:15～15:55
5. 閉 会 15:55～16:00

田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名
4.電話・FAX番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成25年1月11日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。
※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。
(1月10日頃)
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX **03-3946-2684**

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

H P <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ / 03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 岡山
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成25年1月19日(土)開催]

住所	〒 -	電話番号	-	託児施設のご利用	有 ・ 無
氏名		FAX	-	託児人数	人
			-	託児年齢	才
住所	〒 -	電話番号	-	託児施設のご利用	有 ・ 無
氏名		FAX	-	託児人数	人
			-	託児年齢	才

※ボールペンでご記入ください。 ※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。

※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 **03-3946-2684** ↓